

2021年3月27日(土)
12:50 開演 <10:30 開場>

十四世喜多六平太記念能楽堂
主催 公益財団法人 十四世六平太記念財団
協力 喜多流職分会

振替公演
第47回
喜多流
青年能

玉葛 ● 金子龍晟
是界 ● 狩野祐一

チケットご購入のご案内

一般前売券 3,500円(当日券 4,000円) / 学生前売券 2,000円(当日券 2,500円)

発売日: 2021年1月20日(水) 午前10時~

●全席 自由席

●チケット予約購入のご案内

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
キャッシュレス決済を推奨させていただきます。

●インターネット24時間対応 / 要事前登録(無料)

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>

【お受け取り・お支払い】

①セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された受付番号をレジにご提示の上チケットをお受け取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

②窓口(喜多能楽堂事務局)

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのWeb決済)、ご予約の際画面に表示された受付番号を窓口にご提示の上チケットをお受け取りください。現金でのお支払いはできません。

●電話予約

喜多能楽堂事務局 03-3491-8813

午前10時~午後6時 / 休館日あり、営業時間短縮あり

【お受け取り・お支払い】

①セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上チケットをお受け取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

②郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。
入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③窓口(喜多能楽堂事務局)

ご予約の際お伝えした受付番号を窓口にご提示の上チケットをお受け取りください。お支払いは現金のみとなります。

※お受け取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際にご案内いたします。
※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

●次回喜多流青年能予告

2021年5月22日(土)

12:00 開演

能 芦刈 ● 友枝雄太郎

能 半部 ● 狩野祐一

能 猩々乱 ● 高林昌司

●窓口

喜多能楽堂事務局 03-3491-8813

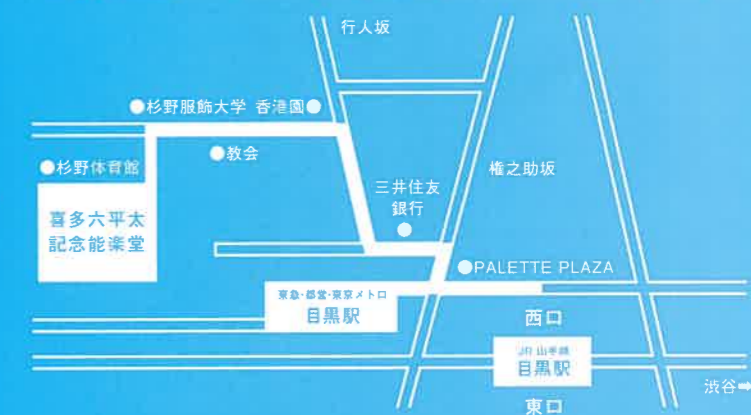
【お受け取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

●各同人でもチケットを受付しております。

*ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所での飲食はできません。感染症拡大防止のため、2階ラウンジでのご利用の制限をさせていただきますことがあります。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。



JR線、東急目黒線、都営三田線、東京メトロ南北線ともに目黒駅下車、徒歩7分

*当能楽堂には駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います

*許可なき写真撮影・録音・録音等は固くお断りいたします

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎 4-6-9

TEL 03-3491-8813

喜多流
青年能

番組

仕舞

八島 殺生石

高林昌司 谷友矩

狩野祐一 佐藤寛泰 佐藤寛泰 友枝雄太郎

能

後シテ・玉葛の霊 前シテ・里女 金子龍晟

玉 葛 矢野昌平

間・初瀬寺門前の者 竹山悠樹

大鼓 柿原孝則 小野寺竜一 小鼓 清水和音

後見 高林呻二 狩野祐一

友枝雄太郎 栗谷充雄 佐藤陽 金子敬一郎 塩津圭介 長島茂 高林昌司 大島輝久

休憩・二十分

狂言

鐘の音 野村遼太

アド・主岡 聡史

休憩・十分

能

シテツレ・太郎坊 後シテ・同前 前シテ・是界坊 友枝雄太郎 狩野祐一

是 界 村瀬 福王和幸 村瀬 提

ワキツレ・從僧 間・飯室僧正坊の能力 内藤 連

大鼓 亀井洋佑 太鼓 大川典良 小鼓 田邊恭資 笛 栗林祐輔

後見 中村邦生 栗谷浩之

金子龍晟 佐々木多門 佐藤寛泰 友枝雄人 友枝真也 狩野了一 谷友矩 内田成信

附祝言

終了予定時刻 四時過ぎ予定

玉葛 (たまかすら)

旅の僧(ワキ)が初瀬川に着くと、小舟に乗った女(シテ)が現れる。二人は長谷寺に参詣し、僧は女に「二本の杉」へ案内される。女はそこで、この杉こそ玉葛ゆかりの木であると語り、玉葛の哀れな運命を聞かせる。そして、実は自分がその玉葛の幽霊であると明かして姿を消してしまう。(中入) 僧が玉葛を弔っている。玉葛の霊が現れ、苦しい恋の妄執のありさまを舞い見せる。しかし、最後には生前の恋を懺悔すること心晴らし、成仏される。

是界 (ぜがい)

中国の天狗の首領である是界坊(シテ)は、中国の高僧を残らず天狗道に引き入れた。日本でも仏法は盛んであると聞きつけ、今度は日本の高僧を引き入れようと、愛宕山の太郎坊(ツレ)の下を訪れる。相談するうちに不動明王の威力に怯えるものの、決心して比叡山を狙いに向かう。(中入) 比叡山の僧(ワキ)が勅命を受け、天狗退散のために都へ行くと、道中で是界坊に襲われる。是界坊は僧を天狗の道に誘い込もうとするが、僧の祈りによって現れた仏法を護る神々に、懲らしめられ退散していく。